



子宮や卵巣の病気

～がん検診で早期発見～



❀ 月経痛、月経不順、貧血には病気がひそんでいるかも？

月経痛や月経不順、貧血は子宮内膜症や子宮筋腫などの病気が原因で起こる場合があります。

子宮内膜症

子宮内膜に似た組織が別の場所のできる病気。月経がある女性の10%にあるともいわれ、20～40代に多くみられます。



〔よくある症状〕

月経痛は約90%にみられます。月経時以外にも腰痛や下腹部痛、排便痛、性交痛などがみられます。また、約30%に不妊があると考えられています。

子宮筋腫

良性の腫瘍が子宮のできる病気。性成熟期の20～30%の女性、特に30～40代に多くみられます。



〔よくある症状〕

月経量が多い、月経が1週間以上続く、月経痛、貧血などがあります。月経以外の出血、腰痛、頻尿などもあります。不妊、流産しやすいなどの症状がみられることもあります。

子宮腺筋症

子宮内膜に似た組織が子宮の筋層内のできる病気。30代後半～40代に多くみられます。



〔よくある症状〕

子宮内膜症のように、強い月経痛を引き起こしたり、子宮筋腫のように月経量が増えたり、貧血がみられます。下腹部痛や腰痛がみられることもあります。

❀ 子宮がんや卵巣がんだと症状が乏しい？

子宮体がんは初期から症状がみられますが、子宮頸がんや卵巣腫瘍の初期だと症状がありません。

子宮頸がん

子宮の入り口に発生するがん。最も多いのは40代ですが、20代前半から増えてくるため、若い人も注意が必要です。



〔よくある症状〕

初期には自覚症状がありません。進行すると、月経以外の出血、性交渉による出血、茶褐色・黒褐色のおりものが増える、足腰の痛み・血の混じった尿などがみられます。

子宮体がん

子宮内膜に発生するがん。更年期以降の女性に発生しやすく、40代半ばくらいから増え始めます。



〔よくある症状〕

初期から月経以外の出血、長期間の月経不順がある、閉経後に不正出血がある、おりものに血が混じる、月経量が多いなどの症状がみられます。

卵巣腫瘍

卵巣のできる腫瘍。そのうち悪性のものを卵巣がんと言います。約90%が良性で、約10%が悪性といわれています。



〔よくある症状〕

腫瘍が小さいうちは無症状で経過することが多いですが、進行して腫瘍が大きくなったり腹水がたまると、お腹が張って苦しい、下腹部痛、頻尿などの症状がみられます。

❀ ワールド健康保険組合の「子宮（頸）がん検診」が受けられます！

ワールド健康保険組合ご加入で対象条件に当てはまる方は、子宮がん検診が受けられます。詳しくは健康保険組合のホームページ (<http://www.worldkenpo.com>) をご確認ください。一般的に、子宮がん検診は「子宮体がん」ではなく、「子宮頸がん」の検診を指します。初期には症状のないがんの早期発見には、がん検診が重要です。子宮がん検診で子宮筋腫などが見つかることもあります。2年に1度は子宮がん検診を受けましょう。また、症状がみられる場合は早めに婦人科へ受診してください。

子宮がん検診のご案内

被保険者の方



被扶養者の方



お問合せ ワールド健康保険組合 保健師
TEL: 078-302-8185